

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事		平成26年 7月30日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
京都府城陽市寺田東ノ口16番地、17番地		城陽市長 奥田 敏晴
環境マネジメントシステムの名称	市独自環境マネジメントシステム(J-EMS)	
適用範囲	市が直接管理する全施設	
導入年月日	2012/4/1	
認証番号		
基本方針	別添①「環境方針」のとおり	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	①エコプランの推進 温室効果ガス排出量 平成13年度比12.0%削減 ②各所属の環境配慮事業、所属別エコオフィス活動の推進 事業等における環境配慮活動 11項目 所属別エコオフィス活動 48項目	
目標を達成するための取組の内容	①エコプランの推進 第3期エコプラン推進手順書に基づいた取り組みを実施した。 ②各所属ごとに設定 実施計画に基づき取り組みを行った。	
目標を達成するための取組の進捗状況	①第3期エコプランの推進 温室効果ガス排出量 7,081t-CO2 (平成13年度比15.0%増加) (参考排出量) 5,230t-CO2 (平成13年度比15.1%削減) ※参考排出量・・・基準年度以降固定している温室効果ガス排出係数を用いて算出した排出量 ②各所属ごとに設定 各事業ごとに進捗を管理。実施計画に基づき実施した。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①第3期エコプラン推進手順書に基づき省エネ推進活動に取り組んだ。温室効果ガス排出量は電気排出係数の増加に伴い目標を達成できなかったが、エネルギー使用量自体は一部燃料を除き削減できており、省エネ活動を継続して推進できていると考える。 ②事業等における環境配慮活動9項目(全11項目)、所属別エコオフィス活動42項目(全48項目)について目標を達成した。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について、年2回遵守評価を実施した。(違反等無)	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	(システム全体評価について) 平成25年度はJ-EMS運用2年目として、新たに衛生センターや、消防施設においてもJ-EMS運用を本格化し、J-EMS適用範囲内の全ての所属においてJ-EMS取り組みを広く推進することができたものと評価する。 また、昨年度よりJ-EMSと取り組みを一体化した第3期エコプランについては、エコオフィス監査の充実等によりJ-EMSのシステムの中で効果的な推進を図ることができたものと評価する。 (環境監査評価について) 環境監査については、監査方法の改善により効率的な環境監査を実施できたものとして評価する。また、監査員のスキルアップのための環境監査研修や、環境監査総括会議の開催、外部アドバイザー制度により、さらに監査の充実が図られたものとする。 (具体的見直し事項について) 平成25年度にスタートした第3期エコプランに基づく全庁的な環境取り組みが推進されるよう、J-EMSにおいて適切に進捗管理する。 職員一人ひとりがJ-EMS取り組みの意義を十分理解し、高い意識を持てるようにJ-EMS取り組みの推進を図る。 さらに有効な指摘や提案ができる環境監査となるよう、引き続き監査員のスキルアップを図る。 環境法令等の順守徹底について、今後もJ-EMSにおいて適切に順守評価する仕組みを継続する。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。